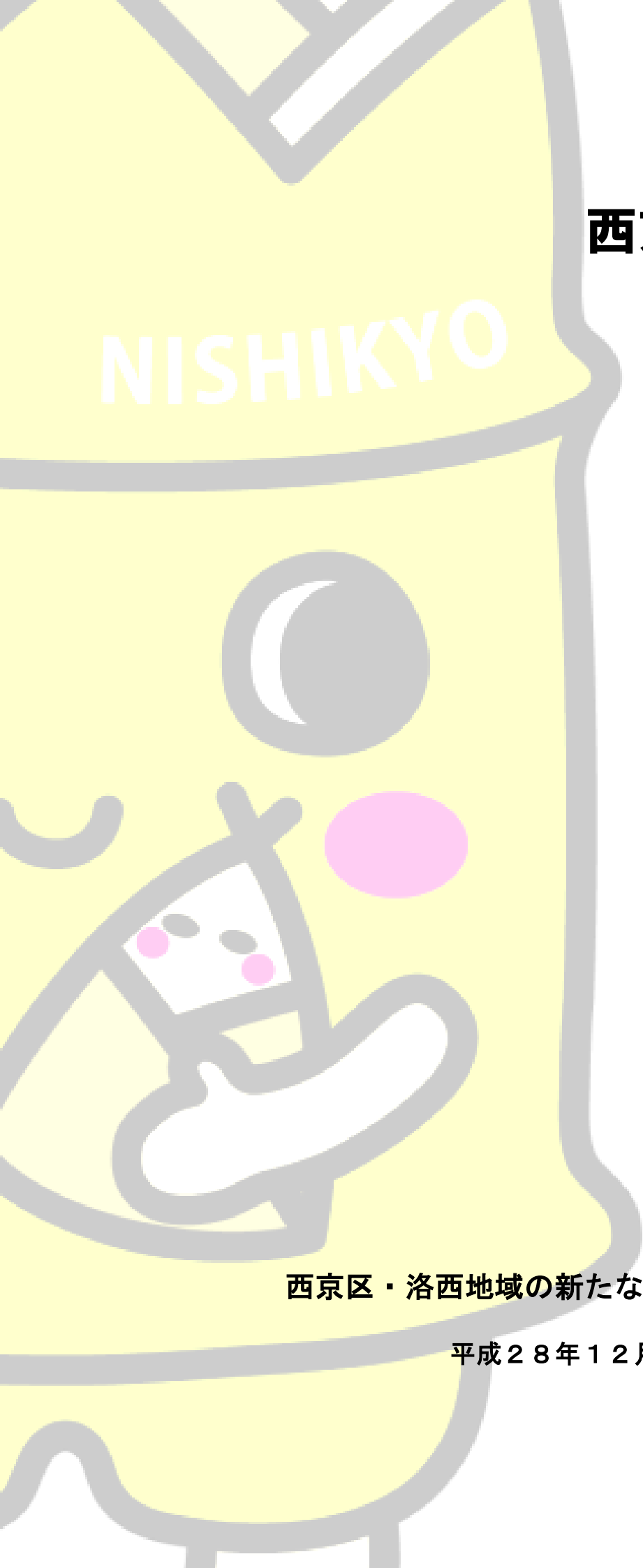




NISHIKYO

**西京区・洛西地域の
新たな活性化
ビジョン
(案)**

西京区・洛西地域の新たな活性化懇談会

平成28年12月

はじめに

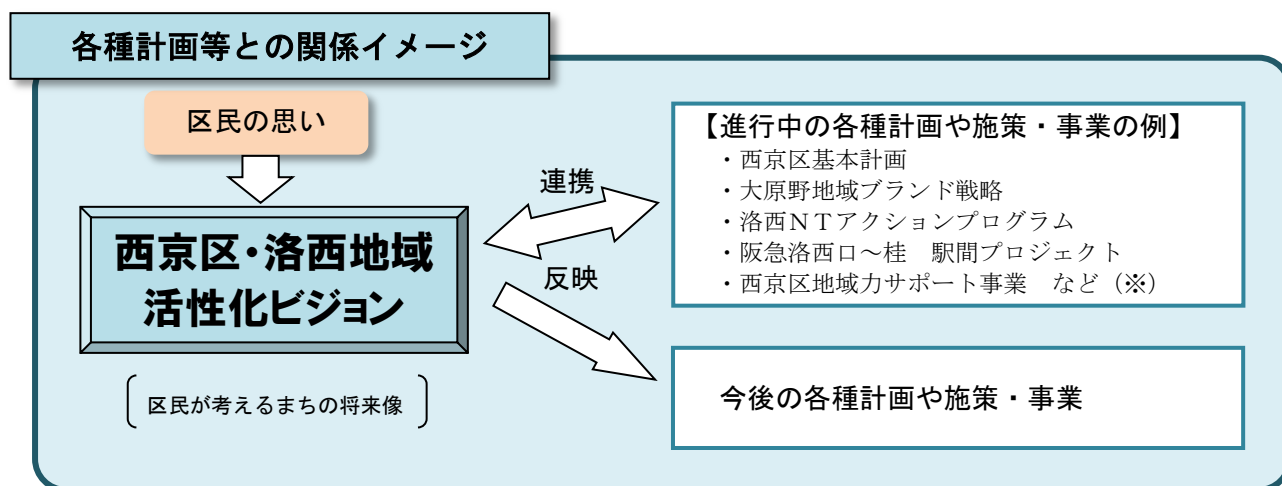
■活性化ビジョンの位置付け

西京区・洛西地域の新たな活性化懇談会（以下「懇談会」という。）は、将来の京都市立芸術大学の移転を見据えた西京区・洛西地域の新たな活性化策について、専門的な見地及び市民の立場から幅広く意見を求めることを目的として、西京区・洛西地域の地元の代表、地域にある学術、産業等の関係機関の代表、学識経験者、行政等による協議・連携組織として平成26年7月に設置されました。

第1回懇談会において、懇談会の最終的な目的について議論した際、西京区・洛西地域の新たな活性化について一定の方向性を示すべきとの意見もあり、3年をめどに懇談会として「西京区・洛西地域の新たな活性化ビジョン」（以下「活性化ビジョン」という。）をとりまとめることとしました。

活性化ビジョンを検討するに当たっては、懇談会を合計8回開催するとともに、区民の皆様の意見を広くお聞きする「住民円卓会議（2回）」や、多様な活動を区内で行っている西京区地域力サポート事業採択団体との「意見交換会（1回）」、「アンケート調査（事業者向け・市民向け）」を実施しながら検討を行ってきました。

この活性化ビジョンは、「西京区民が考えるまちの将来像」として、今後、区民の皆様や事業者・行政が取り組む地域の活性化や魅力づくりなど、西京区のまちづくりを進めるに当たっての基本的な考え方としてとりまとめたものです。



（※）

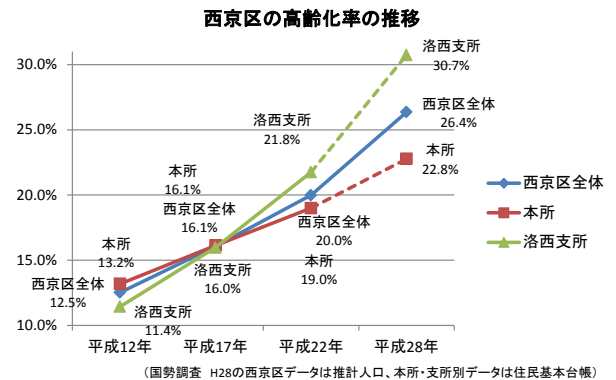
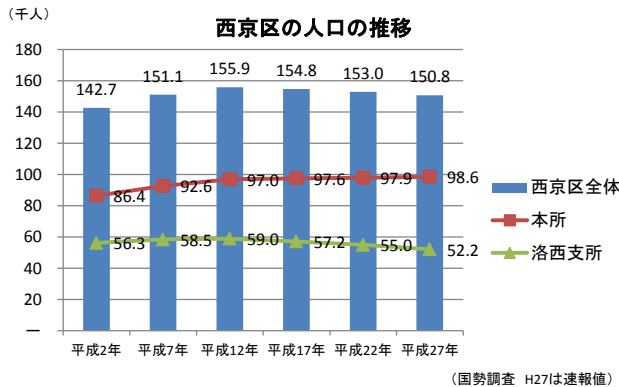
- | | |
|------------------|--|
| 西京区基本計画 | ： 区の将来の姿や目指すべき方向性を区民と行政が共有し、協働してまちづくりを進めていくための平成23年度から10年間のまちづくりの指針 |
| 大原野地域ブランド戦略 | ： “味わいたい・訪ねたい・住みたいまち”大原野を掲げ、大原野の魅力を発信 |
| 洛西NTアクションプログラム | ： 人口減少・少子高齢化によりまちの活力が低下している洛西ニュータウンの現状を踏まえ、まちづくりの方向性を定め、喫緊に、重点的に取り組むべきこと（アクション）を取りまとめる |
| 阪急洛西口～桂 駅間プロジェクト | ： 駅間の高架下について、洛西NT、大原野等の区内各地域のまちづくりとの相乗効果を図る利活用を検討 |
| 西京区地域力サポート事業 | ： 区民による自発的、自主的な企画・運営の事業への支援 |

■西京区の概要

○西京区の人口動向

西京区の人口は 150,789 人（平成 27 年国勢調査速報値）で、10 年前と比較すると 3,967 人、約 2.6% 減少しており、中でも洛西ニュータウンを含む洛西支所管内で減少率が高くなっています。

15 歳未満の人口の割合は 13.2%（平成 28 年推計人口）と全区で最も高く、また 65 歳以上の人口の割合は 26.4%（同）と 4 番目に低くなっています。京都市の中では比較的若い区であるとはいえ、近年は高齢化が進んでおり、特に洛西支所管内で急激に進行している状態です。



○自然環境・自然資源

区内には、自然豊かな西山連峰や、桂川沿いの自転車道路、嵐山周辺の水辺環境、洛西地域を流れる小畑川や善峰川など、豊かな自然とふれあえる場が多くあります。

さらに、桂坂野鳥遊園や洛西竹林公園など、身近なところで自然とのふれあいを楽しむことができる施設も整っています。

また、大原野、大枝の地域は京都市内最大級の農業地帯であり、おいしい農産物が生産されるとともに、豊かな田園景観を形成しています。



○歴史資源

区内には、桂離宮や松尾大社、大原野神社、天皇の杜古墳など、悠久の歴史や信仰を背景とした魅力ある史跡や古刹、名刹が数多く存在しています。

また、旧山陰街道沿いには、「西京檜原界わい景観整備地区」に指定されている歴史的な町並みが広がっています。



○学術・文化資源

区西部には、京都市立芸術大学や、京都大学桂キャンパス、京都経済短期大学、国際日本文化研究センターなど、市内有数の学術研究施設が立地しています。



○人のつながりやまちづくりの活動

歴史や伝統のある祭り、様々な健康づくり活動や体育大会、共同募金運動など、自治連合会をはじめ地域の様々な団体により活発な活動が展開されています。

また、まちづくりに関心のある区民が集う場として「ふらっと・西京」が運営されるとともに、西京区地域力サポート事業により、住民主体の多彩なまちづくり活動が生まれ、区民の生活に安心や彩り、楽しさを創出する場面が増えています。



活性化ビジョンの概要

西京区・洛西地域の将来像として、以下の3つの「目指すべきまちのビジョン」を掲げ、今後、区民、事業者、学校、行政など様々な主体が連携・協働してまちづくりを進めるための基本的な考え方とします。

平成28年度に西京区が区制40周年を迎えるに当たって公募で定めた「キャッチコピー」を本ビジョンの目標とし、10年後の50周年の際には、本ビジョンで掲げた内容がまちづくりの中で実現するよう取り組みます。

西京区制40周年キャッチコピー

『未来に向かって輝け住みよい西京区！』

■目指すべきまちのビジョン

① まち・人の

「つながりを育てる」

～まち・人・活動をつなげよう～

②京都の西の玄関口としての魅力を活かした

「しごとを育てる」

～「つながり」から、働いてよしのまちをつくろう～

③西京区ならではの

「くらしを育てる」

～豊かな自然とコミュニティに囲まれた「西京ライフ」を楽しもう～

活性化ビジョンの内容

①まち・人の「つながりを育てる」

～まち・人・活動をつなげよう～

私たちのまち・西京区には、自分たちの住んでいるまちを住みやすく、楽しく、美しくするために、様々な活動をしている人たちがたくさんいます。

例えば、地域の人たちの交流を生み出す活動や、防災・防犯などの活動、お年寄りや子どもたちが安心して暮らせる環境づくり、まちのにぎわいを生み出すイベントを行う人。芸術活動や音楽活動、自然観察など、自分自身の関心のあるテーマや趣味の活動を掘り下げている人。

また、区内に立地する大学や教育機関などにも専門的知識・技術を持つ人がいます。



しかし、これらの活動をしている人同士のつながりはあまり強くはなく、お互いにどのような活動が行われ、連携できる可能性があるのか、わからないのが実態です。

せっかくの人や活動をまちづくりにもっと活かすことができるよう、まち・人・活動をつなぎあわせる取組を進める必要があります。

【まち・人の「つながりを育てる」うえでの現状と課題をこのように考えます。】

	現状・資源	課題・視点
人・活動	各地域での活発な活動。	区民同士で活動が十分に知られていない。 地域を超えた人・活動のつながりができていない。
新たな活動・ つながりの創出	「桂ヴィレッジフェス」や「らくさいマルシェ」、「マルシェ大原野」など、地域が中心となったイベントの始動。	地元で集える場（飲食店を含む）が少ない。 地理的な要素を踏まえた近隣地域とのつながりを創出していく必要がある（右京区、南区、向日市、亀岡市、長岡京市など）。
地域コミュニティ ・自治会	負担感（担い手・役員）から自治会未加入者が多い。 自治会への加入，未加入を問わずイベントへの参加を呼びかけている地域もある。	地域コミュニティの希薄化。



【まち・人の「つながりを育てる」ために進めるまちづくりの方向性を次のように考えます。】

方向性 1

- 各地域で活躍している区民・団体がつながり，多様な活動同士のコラボレーションや，地域課題の解決に向けた取組が更に進むことで，西京区・洛西地域のまちやくらしがより豊かになることを目指します。

【取組例】

○西京区全体での人・活動の情報共有と交流促進による重層的なネットワークの構築

- ・西京区全体で，まちづくりの担い手や団体の情報を共有する仕組みをつくり，交流を活性化させる。まずは，「大原野と洛西NT」，「洛西NTと洛西ロエリア」など，関係性の深い地域をつなげるところから始める。
- ・イベント・祭り等を有効に活用し，高齢者，子ども，その親世代などの世代ごとに，または世代を超えて，交流できる場をつくり，今あるネットワークも含め，住民間の重層的なネットワークを構築する。

方向性 2

- 地域社会の中でみんなが楽しく、豊かに、心地よく暮らせるまちを目指して、身近な地域の中でのつながりを大切にし、まちを楽しくする交流の場や語り合いの場、様々なジャンルの出会いの機会を創出することで、地域内に多種多様なつながりを育てます。

【取組例】

- ご近所同士で交流したり、身近な問題を話し合う機会の創出

- ・自らのまちの中で心地よく暮らすために気軽な交流の機会を増やしたり、身近なまちの問題やテーマについて話し合う場や機会を創出し、ゆるやかな地域のつながりを育てる。
- ・空き家等を活用し、住民同士が集い、つながることができる場を整備する。

方向性 3

- 子どもや若者が地域の大人や活動・事業などと積極的な関わりを持てるようにすることで、西京区・洛西地域に愛着を感じてもらいます。

【取組例】

- 子ども・若者が地域と関わることを増やし、「ふるさと」としての意識を高める

- ・まちの歴史・文化を知り、人との繋がりを通じて、「ふるさと」としての意識を高めるために、子どもや若者が、地域内の自治活動やお祭り、まちづくり活動、事業などへ関わる機会を増やす。



西京区制 40 周年記念事業の一環として、平成 28 年 9 月 25 日に京都市立桂中学校でギネス世界記録に挑戦をしました。
挑戦内容は「参加者全員で一斉に手首を握り、60 秒以上手首をつないだまま動かない取組の参加人数を競うチャレンジ (Longest chain of people clasping wrists/手首でつないだチェーン最長)」で、西京区民による記録は 4,052 人でギネス世界記録を達成することができました。

②京都の西の玄関口としての魅力を活かした 「しごとを育てる」 ～「つながり」から、働いてよしのまちをつくろう～

私たちのまち・西京区は、豊かな自然や市内有数の農業地域から生まれる地域産品、歴史豊かな社寺や史跡など、魅力的な地域資源がたくさんある地域です。

また、西京区は京都市の西の玄関口とも言える立地環境にあり、阪急やJRなどによる京都市都心部や嵐山などの観光地へのアクセスも便利であるとともに、大阪方面への通勤・観光・ビジネスにも利便性の高い地域です。近年では、阪急洛西口駅やJR桂川駅の開業、第二外環状道路の開通による高速道路へのアクセス向上など、都市基盤の整備が進んでいます。



このように、様々な面で大変ポテンシャルが高く、快適に住むことのできるまちですが、「しごと」「ビジネス」の場として、十分に資源や人を活用しきれていない面もあります。



西京区に存在する様々な魅力・資源を知り、発信し、つなぎあわせることにより、さらなる魅力アップを目指すとともに、その資源・人を活かし、西京区の活性化につながる「しごと」を創出し、経済的な循環や新たなビジネス起こしを促すまちづくりに取り組む必要があります。



【魅力を活かした「しごとを育てる」うえでの現状と課題をこのように考えます。】

	現状・資源	課題・視点
魅力資源 まちの 魅力アップの動き	多様な個性を持つ地域が集まる区。 豊かな自然や有数の農業地域から生まれる地域産品、歴史豊かな社寺や史跡。	地域資源が区民に知られていない。それぞれの資源のつながりや発信力が弱い。 地域の魅力発信や魅力づくりを区全体・区民ぐるみで取り組むネットワークがない。
交通利便性	阪急洛西口駅、ＪＲ桂川駅の開業、国道９号千代原口交差点の立体交差化、京都第二外環状道路の開通など、急速に進む都市基盤の整備。	整備された交通インフラを活かしたまちづくりや、区内移動・観光交通のための道路整備。
潜在している活力	夜間人口に比べて昼間人口が少ない（夜間人口を１００とした場合、昼間人口の比率は約８１％）。 元気な高齢者が多い。 子育て中の母親がしごとを続けることが難しい。	高齢者、子育て中の母親、若者が働ける場が区内にあまりない。 元気な高齢者、子育て中の母親の活力を活かしきれていない。

【魅力を活かした「しごとを育てる」ために進めるまちづくりの方向性を次のように考えます。】

方向性 1

- 西京区の特徴は多様な個性を持つ地域が集まっていることにあり、その魅力を発信するためにも、まずは区民自身がそれぞれの地域の魅力を再確認・再発見し、それを自ら楽しむことから始めます。

【取組例】

○区民が自らの地域の魅力を再確認し、つないで、区内・区外にPR

- ・西京区の多様な地域性を活かす視点が重要であり、まずは区民自身が自らの地域の魅力を再確認し、それを区内で共有する取組を推進する。
- ・魅力的な地域資源を区民に知ってもらうためのツール（情報誌等）を開発する。さらに、地域資源を区全体の視点に立って結び付け、PRする。

方向性 2

- 良好な住環境や豊かな自然環境など、「郊外」としてのまちの魅力を大切にしながら、学術機関に集う多くの研究者や学生、市内有数の農業資源、個性ある歴史文化資源、高速道路による広域アクセスなど、都心とは異なる、西京区ならではの資源を活かした「しごと」の創出を目指します。

方向性 3

- 西京区内の様々な人々や学術機関、企業、農業などのつながりを育てることで、コラボレーションを誘発し、新たなサービスや魅力を創出することを目指します。

方向性 4

- 様々なアイデアや得意技を持つ区民のやりたい気持ちを育て、やりたいことが実現できるまちを目指します。



【取組例】

- 西京区のまちの資源や交通アクセスを活かした、観光プログラム等の開発・ビジネス振興

- ・西京区ならではの資源を活かした観光プログラム（サイクリング、ピクニックなど）や特産品等を開発するための、事業者、住民、行政等のネットワークを形成する。



- ・農業体験や見学スポットの開発による農業ビジネスや観光ビジネスの振興。
- ・高速道路のポテンシャルを見据えた産業の創出。例えば、車でのアクセスが向上したことと、元々持っている地域資源である農業地域の魅力を活かし、観光拠点としての地域産品の直売施設の開設や、「地産地消」の取組の推進など。

【取組例】

- コミュニティビジネスの創出

- ・地域が抱える課題を地域住民が主体的に、ビジネスの手法を用いて解決する「コミュニティビジネス」の創出を促進することで、経済循環を生み出すとともに、まちの魅力向上と、課題解決につながる。

③西京区ならではの「くらしを育てる」 ～豊かな自然とコミュニティに囲まれた「西京ライフ」を楽しもう～

西京区には、洛西ニュータウンや桂坂、右京の里など、計画的に整備された街並みや、駅に近く利便性の高い住宅地など、暮らしやすい住宅地が多く存在するとともに、豊かな自然に囲まれ、「くらしの場」としての魅力が高い地域です。



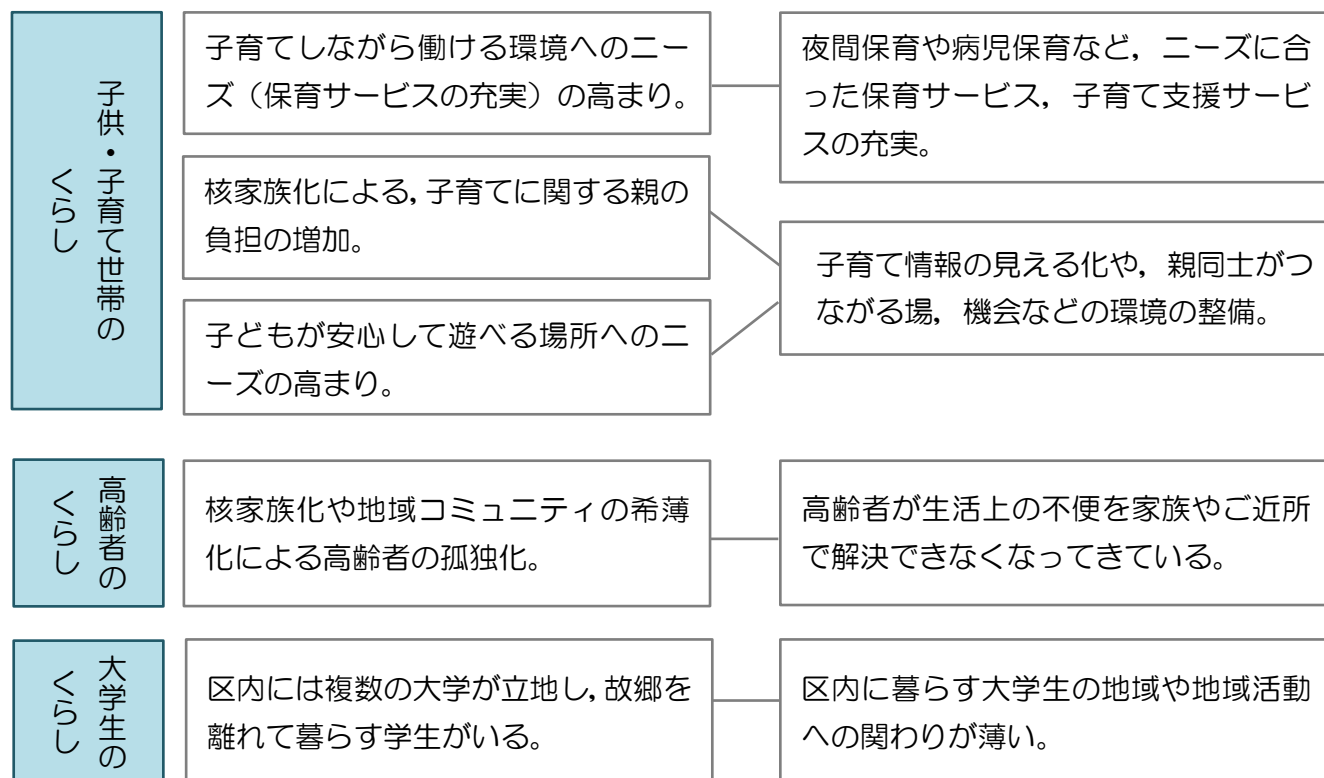
特に、子育て層にとって、西京区の住環境は子どもをのびのびと育てることができる環境として評価されていますが、保育サービスや遊び場の一層の充実が求められているところです。また、地域コミュニティの中で見守り・支え合いながら子育てできる環境や、高齢者が安心して暮らせる環境が求められている中で、徐々にコミュニティが希薄化している点が課題となってきました。



今後、自然・農業・歴史など、西京区ならではのまちの資源を生活に取り入れた豊かな暮らし方を「西京ライフ」として推進し、全ての区民の生活幸福度が向上することを目指し、「住まい」「コミュニティ」「くらしの安心を支える仕組み」「交通」「生きがい」などを充実させるまちづくりに取り組む必要があります。

【西京区ならではの「くらしを育てる」うえでの現状と課題をこのように考えます。】

	現状・資源	課題・視点
暮らしやすさ	自然が多く、住環境が良い。 生物多様性のまち。	暮らしやすいまちであることを区民自身が意識できていない。また、魅力を十分にアピールできていない。
	モビリティマネジメントと一体となったバス路線の拡充などにより、バス路線が充実してきている。	地域ごとの課題を踏まえたバス路線の経路や運行時間などの利便性のより一層の向上（区内移動も含む）。
若年層の定住	一部の地域では生産年齢人口（15歳～64歳）の減少が著しい。	特に洛西ニュータウンの住宅は、若い人のニーズに合っているのか。Uターンを促す方策はないか。



【西京区ならではの「暮らしを育てる」ために進めるまちづくりの方向性を次のように考えます。】

方向性 1

- 西京区内には「良質な住宅地」「良好な教育環境」「通勤利便性」「豊かな自然」「駅前のにぎわい」など、子どもからお年寄りまでが住みたくなる多様な要素が揃っており、これらの資源・機能をリニューアル・コラボレーションしながら活用して、より魅力あるまちにします。
- 西京区・洛西地域ならではの、豊かな自然や農業、まちの歴史などを生活に取り入れ、他のまちでは味わえない個性あるライフスタイルを送ることができるまちを目指します。

【取組例】

○洛西NTにおける移住・定住に向けた住宅ストックの活用

・若者の居住ニーズを分析したうえで、洛西NTにある活用可能な住宅ストックを十分に活かす方策を検討する。例えば、洛西NTならではのテーマ（農業・食・子育て・ペットなど）を設定し、そのライフスタイルに応じた住宅（ハード）へのリノベーションや、サービス提供や支え合いの仕組み（ソフト）の導入を推進する。

○自然環境を活かした子育て環境と安心して子育てできる環境の充実・発信

・西京区の特長である自然環境を活かした子育て環境（ハード、ソフト両面）の充実や発信、地域における子どもの見守り活動をさらに充実させる。

方向性 2

- 高齢者への買い物支援や子育て家庭への育児支援といった暮らしの困りごとについて、地域内で支え合える仕組みを備えるなど、子どもからお年寄りまでが安心して暮らせるまちを目指します。また、その仕組みを学生も含めた多くの区民の参加により推進します。

【取組例】

○子育て中の親同士が交流できる居場所づくり

- ・子育て中の親同士が交流できるような場所として既存の施設等を活用する。

○学生がまちづくりへ参加する仕組みづくり

- ・学生が地域でのまちづくり活動や地域の困りごとに取り組める仕組みを構築する。

方向性 3

- 西京区・洛西地域のライフスタイルを支える交通環境の整ったまちを目指します。

【取組例】

○暮らす人・訪れる人にとって利便性の高い交通施策の再構築

- ・西京区で暮らす人・訪れる人、それぞれの視点に立ったうえで、区外へのつながりだけでなく、区内間の移動も含めた交通問題を総合的に捉えなおし、西京区に適した交通施策を再構築する。

方向性 4

- 西京区の豊かな自然環境や住環境において、心身ともに健康に暮らすことのできる健康長寿のまちを目指します。



【取組例】

○地域の農産品を活かした食育活動の推進

- ・大原野や大枝等の農業資源や農作物を活かした食育活動の推進を図る。

○身近な自然環境を楽しむスポーツ・文化活動の推進

- ・充実した公園や、西山、桂川などの自然環境など、地域の資源をウォーキングやサイクリングなどで巡るツアーや、スケッチや屋外コンサートなどの文化活動を楽しむ取組を推進する。

【西京区・洛西地域の新たな活性化懇談会委員名簿】（敬称略）

（平成 28 年 12 月現在）

	氏名	役職等
会長	小石 玖三主	西京区自治連合会会長
会長職務代理者	片山 千恵子	新林学区社会福祉協議会会長
委員 (五十音順)	赤井 明子	西京区洛西支所地域力推進室長
	荒木 裕一	公立大学法人京都市立芸術大学事務局長
	江村 寛計	京大桂ベンチャープラザビジネス・インキュベーション・コーディネーター
	城戸 俊明	京都おやじの会副会長、大原野おやじの会
	古瀬 ゆかり	行財政局総務部長

	氏名	役職等
委員 (五十音順)	小山 良治	高島屋洛西店店長
	富田 千果子	京都市立西総合支援学校学校運営協議会副会長、人づくり21世紀委員会西京区世話役
	村上 薫	大枝学区自治連合会会長
	村下 恒雄	NPO法人らくさいライフスタイル代表
	安枝 英俊	兵庫県立大学環境人間学部准教授
	渡邊 正和	京都大学工学研究科総務課長
	高田 光雄	京都大学大学院工学研究科教授
アドバイザー	高田 光雄	京都大学大学院工学研究科教授

森紳二郎委員（高島屋洛西店店長 平成 28 年 2 月まで）

八木清隆委員（京都大学工学研究科総務課長 平成 28 年 3 月まで）

入木田浩幸委員（国際日本文化研究センター管理部総務課長 平成 28 年 6 月まで）

このつながるマップは、西京区内の魅力スポットや施設、区民の活動など、多様な資源をつなぎあわせ、新たな魅力や活力を生み出すことをイメージし、作成しています。



つながるマップ

西京区・洛西地域のまちづくりを発展させる様々な魅力資源

つながる場づくり

人のつながりや集いの場づくりに関心のある人々
(例) ふらっと・西京参加者、まちづくりNPOなど

農業資源

農・食・自然などに通じる人々
(例) 農家、貸し農園利用者、地産地消の飲食店など

芸術・アート活動

デザインスキルの高い人々・アート活動
(例) 市立芸大生・西山高原アトリエ村など

大学の専門的知識

専門的知識・技術の高い人々
(例) 芸大・京大・経短大の教員・学生など

自治活動

地域の交流促進・マネジメントなど地域の自治活動
(例) 各地域の自治連合会・各種団体、NPO など

賑わいづくり活動

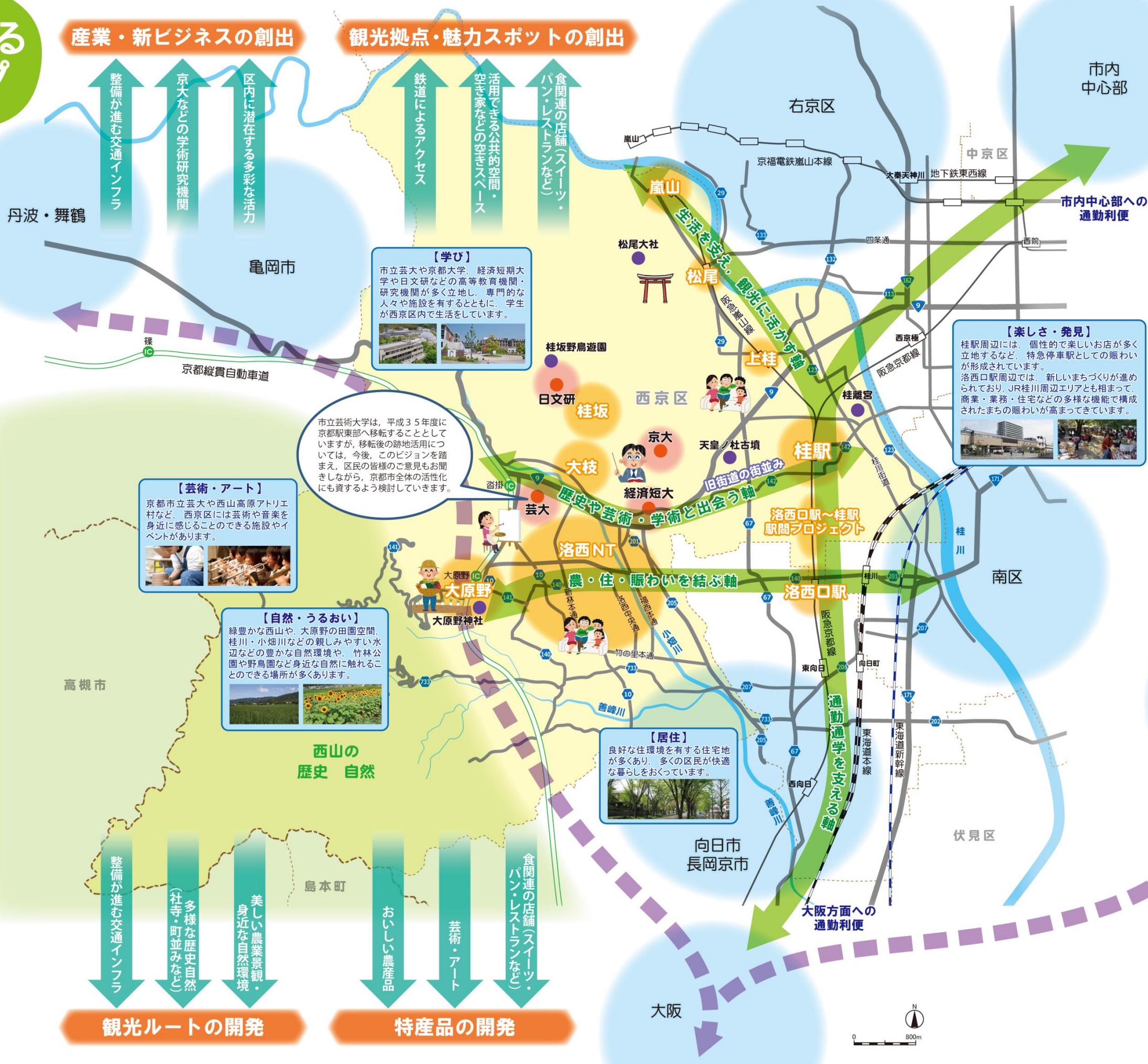
商業活性化・まちの魅力アップにつながる活動
(例) 地域の商店主、まちづくり団体、マルシェなどの運営者など

子育て支援活動

地域の子育てを支援する活動
(例) 子育てサークル・子育て支援団体など

高齢者支援活動

地域の高齢化へ対応できる福祉活動
(例) 民生児童委員・社会福祉協議会・ボランティア団体など





発行 西京区・洛西地域の新たな活性化懇談会

【事務局】

京都市行財政局総務部総務課

電話 075-222-3045

京都市西京区役所洛西支所

地域力推進室

電話 075-332-9185

